

寺久保エレナ2年ぶりの日本ツアーリ



Erena Terakubo (as.)

David Bryant (pf.)

高橋 陸 (cb.)

小田桐 和寛 (ds.)

寺久保エレナ

Quartet Tour 2022

白鷹公演

Photo by Shigeru Uchiyama

7月16日 土

開場：15:00 / 開演：15:30

チケット

一般前売 4,000円 / 一般当日 4,500円

(全席自由席)

前 売 券 取 扱 先

【南陽市】Jazz triangle TEL 090-3755-0981

【白鷹町】白鷹町文化交流センター TEL 0238-85-9071

白鷹町立図書館 TEL 0238-87-0217

【長井市】音楽アズム館長井店 TEL 0238-84-3111

会 場 白鷹町文化交流センター あゆ一む

山形県西置賜郡白鷹町鮎貝7331



新型コロナウィルス感染症に伴うお願い

●咳エチケット、マスク着用、手洗い、手指の消毒をお願いいたします。

●社会的距離の確保をお願いします。

●37.5℃以上の発熱や他の症状がある場合、来場をお控え願います。

●新型コロナウィルス等の感染症拡大防止のため公演が延期又は中止となる場合があります。

●緊急連絡先等の個人情報の提供にご協力お願いします。

●厚生労働省新型コロナウィルス接触確認アプリ(COCOA)の活用をお願いします。

新型コロナウィルス接触確認アプリ
(COCOA) のダウンロードはこちらから



Google Play

App Store

【その他】※未就学児のご同伴・入場はご遠慮下さい。※前売券完売の場合、当日券の販売はありません。
※車イスをご来場の方は、公演前日までにお問合せ下さい。

【主 催】Jazz triangle 【共 催】白鷹町・白鷹町教育委員会・白鷹町文化交流センター

【お問い合わせ】白鷹町文化交流センター TEL 0238-85-9071 Jazz triangle(高橋) TEL 090-3755-0981



寺久保エレナ (as.)



David Bryant (pf.)



高橋 陸 (cb.)



小田桐 和寛 (ds.)

1992年札幌生まれ。6歳でピアノ、9歳からサックスを始める。札幌ジュニア・ジャズ・オーケストラに参加。13歳の時、最年少でボストン・バークリー・アワードを受賞。渡辺貞夫、山下洋輔、日野皓正、佐山雅弘、本田雅人、タイガーダ越など有名ミュージシャンとの共演やセッションに多数参加。2010年高校3年生の時に、ケニー・バロンやクリスチャン・マクブライドが参加した『ノース・バード』でメジャー・デビューを果たし、一躍大きな注目を集め。同アルバムは「スイングジャーナル」誌ゴールドディスクを受賞。2011年、2枚目のアルバム『ニューヨーク・アティチュード』をリリース。同年、日本人初のプレジデント・フルスカラーシップ（授業料、寮費免除）を獲得して、アメリカのバークリー音楽大学に留学。2013年、第3作『ブルキナ』を発表。2015年バークリー音大を卒業し、活動の拠点をニューヨークに移す。2016年、アルバム『ア・タイム・フォー・ラブ』をカナダのCellar Liveからリリース。2018年、札幌のテレビ局HTBに開局50周年記念テーマソングを提供。3月、初めてのレギュラー・カルテットによるリーダー・アルバム『リトル・ガール・パワー』を発表。2019年4月、初のライヴ・アルバム『アブソルートリー・ライヴ!』をキングレコードからリリース。同年、ケニー・バロン・カルテットのメンバーとしてニューヨーク、ディジーズ・クラブに出演し、ツアーにも参加する。これまでに、ルイス・ヘイズ、ジミー・コブ、ルイス・ナッシュ、エリック・アレキサンダー、ヴィンセント・ヘリング、ジョン・ビーズリーの「モンケストラ」などと共演。アメリカ、フランス、ブルキナファソ、チリ、アルゼンチン、オーストラリア等でツアーを行い、活動の幅を広げている。

ニューヨーク・ブルックリン生まれ。世界のジャズシーンで注目を集めるピアニスト／作曲家／マルチインストゥルメンタリスト。アルバム "Dirt ... And More Dirt" by ヘンリー・スレッギル (Henry Threadgill)、"Serenade for Horace" と "Return of the Jazz Communicators" by ルイス・ヘイズ (Louis Hayes)、"Synovial Joints" by スティーブ・コールマン (Steve Coleman)、"Of Song" by マーカス・ストリックランド (Marcus Strickland)、"Water and Earth" by ジェレミー・ペルトや、映画 "Leatherheads" のサウンドトラックなどではブライアントの幅広く繊細でオリジナリティに溢れた演奏が聴き取れます。共演したアーティストは、クリスチャン・マクブライド (Christian McBride)、ラビ・コルトレーン (Ravi Coltrane)、ロイ・ヘインズ (Roy Haynes)、デーブ・ホーランド (Dave Holland)、デルフィヨ・マルサリス (Delfeayo Marsalis)、ルイス・ヘイズ (Louis Hayes)、ヘンリー・スレッギル (Henry Threadgill)、スティーブ・コールマン (Steve Coleman)、ケニー・ウィーラー (Kenny Wheeler)、ボブ・ブルックマイヤー (Bob Brookmeyer)、ジミー・ヒース (Jimmy Heath) など多数にわたる。

1996年生まれ、千葉県東金市出身。

12歳から、吹奏楽でコントラバス、エレクトリックベースを始める。吹奏楽を田中淳一郎氏、コントラバスを内山和重氏に師事。全国大会をはじめ数々のコンテストで入賞を果たす。平行してジャズに興味を持ち Charlie Haden の直系 Jiro Plutschow 氏、井上陽介氏に師事。吹奏楽と並行しライブシーンでプロのベーシストとしてのキャリアをスタート。17歳のとき、18歳以下の全国規模のコンテスト U-18 Jazz Player Meeting でソリスト優秀賞を受賞。記念レコーディングにアコースティックベース、エレクトリックベース両方で選抜される。18歳のとき、バークリー音楽大学北海道グループキャンプに参加。タイガーダ越、Lincoln Goines 氏の指導を受ける。バークリーアワードを受賞し米国ボストンのバークリー音楽大学 Summer Performance Program 2014 にフルスカラシップ奨学生として留学。現地オーディションに於いて大学フルタイムのフルスカラシップを受賞。2017年に韓国で開催された国際ミュージックフェスティバルに出演、NY 修行中の2018年には気鋭の Kelly Green やレジェンド Johnny O'Neal の目にとまり Johnny O'Neal Trio の一員として NY の最先端の舞台に立つなど活動の場を海外にも広げている。主な共演者は、植松孝夫 (ts)、山口真文 (ts,ss)、峰厚介 (ts)、川島哲郎 (ts)、五十嵐一生 (tp)、TOKU(flh,vo)、山下洋輔 (p)、大西順子 (p)、大坂昌彦 (ds)、akiko (vo)、Tivon Pennicott (ts)、David Bryant (p)、Williem Delisfort (p)、Gene Jackson (ds) 等、多岐にわたる。

1987神奈川県横浜市生まれ。幼少からピアノ、トロンボーン、打楽器に触れ、17歳よりドラムを始める。

2008年国立音楽大学打楽器科へ進学。同大のニュータイド・ジャズ・オーケストラで、「山野ビッグバンド・ジャズコンテスト」最優秀賞を3年連続で受賞した。在学中は渡辺貞夫、小曾根真、山下洋輔各氏に師事。最優秀者に贈られる「山下洋輔賞」を受賞し卒業。その後は小曾根真氏の推薦でバークリー音楽大学に特待生として留学、首席で卒業した。バークリー在学中は Ralph Peterson(ds), Terri Lyne Carrington(ds), Darren Barrett(tp) に師事。在学中から Blue Note NY, WBGO Jazz 88.3FM ラジオ、Beantown Jazz Festival 等で演奏を重ね、卒業後 NY へ拠点を移した。6年に渡る NY での活動では、黒田卓也 (tp)、海野雅威 (pf)、Lonnie Plaxico(b)、寺久保エレナ (as) 等と共に活動を重ねる一方、日本でも小田桐寛之 (tb)、小田桐恵子 (pf)、小田桐智子 (vib) とのカルテット活動や、小曾根真 (pf)、守屋純子 (pf)、宮本貴奈 (pf) 等と共に活動を重ねている。また、すぎやまこういち作曲ドラゴンクエストのサウンドトラックレコーディングやコンサート(東京都交響楽団)にドラマーとして参加するなど、その活動の幅は広い。2021年には小曾根真 "OZONE 60 in Club" New Project "From OZONE till Dawn" Motion Blue YOKOHAMA 公演に参加。新たに設立された Jazz Arts Ensemble of Tokyo "BIG BAND" のメンバーである。ジャズを基盤に Funk、Rock、R&B、ブラジリアン、アフロキューパン、マダガスカル、インド音楽に携わり、ジャンルの制限を受けないその演奏スタイルは各方面から注目を集めている。CANOPUS"海外アーティスト契約、Istanbul "Agop" エンドーサー。